令和８年 10 月 28 日時点

＜ポイント版＞　岐阜経済レポート（令和８年９月分）

【製 造 業】

〇製造業は、７月の鉱工業生産指数は前月比２．８％となった。ヒアリングでは、航空部品については需要拡大に伴い、新規・既存取引先から引き合いが増加しており、製造ラインを増やして対応しているとの声がある一方、中国市場で日本車が売れない状況であるとの声も聞かれた。

〇地場産業は、７月の鉱工業生産指数は、窯業・土石、食料品で下降した。ヒアリングでは、全体の景況感は悪くない状態で、差別化商品やこだわり商品の引き合いが強く、海外の取引や新規の問い合わせも増加しているといった声がある一方、業界全体の動向を見極めながら価格改定に踏み切らざるを得ないため、タイミングが難しく、市場が縮小している感じが否めないといった声が聞かれた。

【設備投資】

〇設備投資は、８月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比６５．３％増加となった。ヒアリングでは国や県、市町村等の補助金を活用し、高圧受電設備の入れ替えや太陽光発電設備の導入を決め、近日中に工事を開始するといった声や、航空、半導体関連産業などは先行きが明るく、増産対応等を目的とした設備投資に積極的な動きが見られるといった声があった。

【個人消費】

〇個人消費は、８月の販売額は、全体で前年同月比１．３％となった。ヒアリングでは、単月での売上は８月歴代１位、客数は過去最高となり、４−８月の累計は売上、客数共に過去最高になったといった声がある一方、一点単価の上昇影響もあり、買上点数が伸び悩む傾向が続いており、反転する材料や兆しが見られないといった声があった。

【観光】

〇宿泊者数は、前年同月を上回った。

〇宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。

【資金繰り】

〇８月の制度融資実績は前年同月比３０．１％増加となった。融資動向については物価高、人件費高騰に伴い、運転資金の需要が高まっているといった声が聞かれた。

【雇　　用】

〇８月の有効求人倍率は１．３９倍と前月比▲０．０４ポイントとなった。ヒアリングでは、２０２７年度新卒は、大卒、高卒ともに採用があり、２０２８年度新卒採用準備も進めているといった声がある一方、中小・零細企業については、賃上げによる影響を特に受けていることから、今後、人材確保が一層困難になる可能性があるといった声があった。

【景気動向】

７月の景気動向指数（一致指数）は前月比２．１ポイント上昇、８月の中小企業の景況感は同７．０ポイント上昇となった。